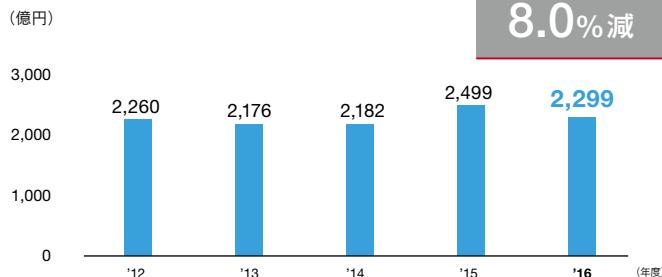


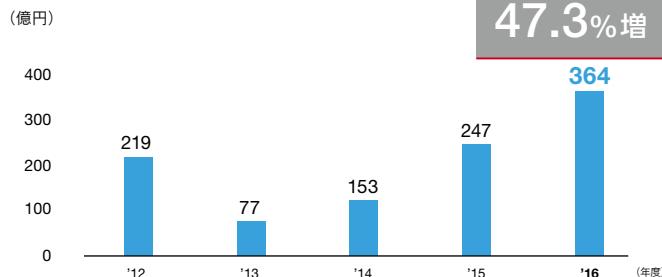
# 連結決算ハイライト

注：2012年度、2013年度は米国基準で、2014年度以降は国際会計基準 (IFRS) に準拠して表示しています。

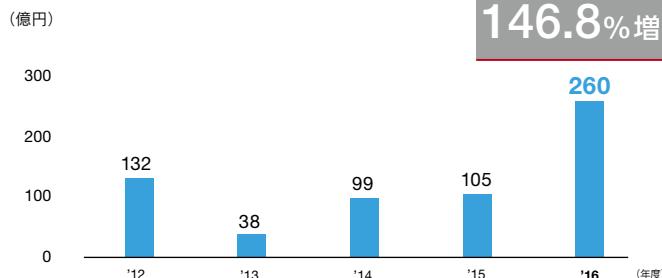
## 売上高



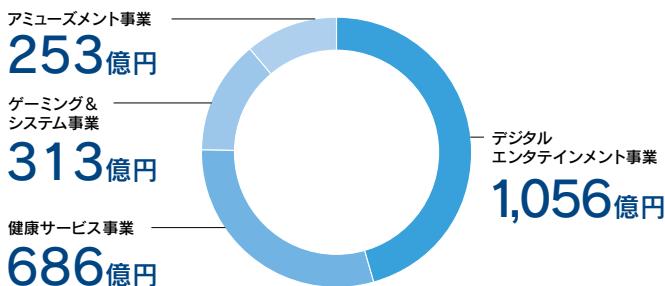
## 営業利益



## 親会社の所有者に帰属する当期利益



## セグメント別売上高



当連結会計年度の売上高は2,299億2千2百万円(前年度比8.0%減)、営業利益は363億5千9百万円(前年度比47.3%増)、税引前利益は355億2千1百万円(前年度比49.5%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は259億5千1百万円(前年度比146.8%増)となりました。

デジタルエンタテインメント事業におきましては、モバイルゲーム『遊戯王デュエルリンクス』が約150の国と地域で配信開始され、多くのお客様にご好評いただいております。また、『実況パワフルプロ野球』や『プロ野球スピリッツA(エース)』、『ウイニングイレブン クラブマネージャー』(海外名『PES CLUB MANAGER』)等のタイトルも引き続き堅調に推移いたしました。カードゲームでは、グローバルに展開する『遊戯王トレーディングカードゲーム』シリーズが安定した人気に支えられ堅調に推移いたしました。家庭用ゲームでは、『実況パワフルプロ野球2016』や『ウイニングイレブン2017』(海外名『PES 2017-Pro Evolution Soccer-』)が引き続き堅調に推移したほか、Nintendo Switch™用ソフト『スーパーボンバーマンR』(海外名『Super Bomberman R』)を発売いたしました。

健康サービス事業におきましては、お客様の利用頻度に応じて選択できる料金プランや複数の施設を手軽に利用できる施設利用制度を展開するとともに、

“続けられる”をコンセプトにコナミスポーツクラブのサービスの拡充と浸透に努めました。健康関連商品では、家庭用を中心として広がりを見せる健康機器市場での認知向上、シェア拡大を目的に新たな健康関連商品の開発に取り組んでおります。

ゲーミング&システム事業におきましては、主力商品であるビデオスロットマシン『Concerto(コンチェルト)』シリーズを中心に、ロングセラー商品の『Podium(ポディアム)』シリーズやカジノマネジメントシステム『SYNKROS(シンクロス)』の販売を北米、アジア・オセアニア市場を中心に展開いたしました。

アミューズメント事業におきましては、アーケードゲームの『麻雀格闘倶楽部ZERO』や音楽ゲームを中心とした『e-AMUSEMENT Participation』タイトルが安定稼働を続け、中でも、ピアノをモチーフにした新規音楽ゲーム『ノスタルジア』が稼働を開始し、ご好評をいただいております。また、メダルゲームでは、最新作『マジカルシューター』、『トレジャーシュート』が本格稼働を始めました。遊技機におきましては、パチスロ機『セブンスビート』、『メタルギア ソリッド スネークウィーター』、『麻雀格闘倶楽部2』、『防空少女ラブキューレ』、『GI優駿倶楽部』を発売いたしました。

より詳細な財務情報については、当社ホームページに掲載している決算短信などをご覧ください。

<https://www.konami.com/ir/ja/ir-data>